

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 3 部門第 2 区分
 【発行日】平成 19 年 12 月 20 日 (2007.12.20)

【公表番号】特表 2003-525220 (P2003-525220A)
 【公表日】平成 15 年 8 月 26 日 (2003.8.26)
 【出願番号】特願 2001-549325 (P2001-549325)
 【国際特許分類】

C 0 7 C 29/80 (2006.01)

C 0 7 C 29/141 (2006.01)

C 0 7 C 31/22 (2006.01)

C 0 7 B 61/00 (2006.01)

【F I】

C 0 7 C 29/80

C 0 7 C 29/141

C 0 7 C 31/22

C 0 7 B 61/00 3 0 0

【手続補正書】

【提出日】平成 19 年 11 月 5 日 (2007.11.5)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 接触的水素化によるトリメチロールエタン、トリメチロールプロパン、トリメチロールブタン、ネオペンチルグリコールおよびペンタエリトリット、殊にトリメチロールプロパンからなる群からの多価アルコールの色価を改善する方法において、水素化に使用される多価アルコールをその製造後に蒸留によって精製することを特徴とする、接触的水素化による多価アルコールの色価の改善方法。

【請求項 2】 多価アルコールが無機カニッツァーロ法もしくは有機カニッツァーロ法または水素化法、有利に水素化法に由来する、請求項 1 記載の方法。

【請求項 3】 水素化に使用される多価アルコールが 95% を上回る、有利にトリメチロールプロパンの場合に 98% を上回る生成物含量を有する、請求項 1 または 2 記載の方法。

【請求項 4】 周期律表の第 3 族ないし第 12 族の金属、有利に Cu、Ni、Pd、Ru およびこれら金属の組合せの不均質触媒を純粋な金属の形ならびにその化合物の形で水素化に利用する、請求項 1 または 2 記載の方法。

【請求項 5】 担体上、有利に Al₂O₃ または TiO₂ 上に施こされた触媒をそれぞれの調製形、有利にストランドもしくはタブレット、または有機材料もしくは無機材料上または金属上の薄層触媒の形で使用する、請求項 4 記載の方法。

【請求項 6】 織物の可能な全体的調製において Pd、Ru またはラニーニッケルを有する薄層触媒を使用する、請求項 5 記載の方法。

【請求項 7】 水素化を 20 ~ 300 、有利に 100 ~ 180 の温度および 1 ~ 350 バール、有利に 1 ~ 100 バール、多くの場合に有利に 1 ~ 50 バールの圧力で実施する、請求項 1 または 2 記載の方法。

【請求項 8】 多価アルコールの滞留時間が 5 分間ないし 4 時間、有利に 10 分間ないし 60 分間である、請求項 1 または 2 記載の方法。

【請求項 9】 水素化を非連続的に、有利に攪拌釜中で運転するかまたは連続的に、

有利に管状反応器中で液相法もしくは細流法で運転する、請求項 1 または 2 記載の方法。